

テレビ朝日親時計不調解消への貢献 放送・ITシステム部 マスター担当者一同に局長賞 系列局と連携

2024年5月14日（火）

テレビ朝日の親時計の不調を発見し、不体裁の拡大を防止したとして、放送・ITシステム部のマスター担当者一同に局長賞が送られました。この不調はテレビ朝日発のネット番組とローカル番組の切替時に、本来映らないはずの不要な映像が見える現象が発生するようになったもので、秋田朝日放送と連携し発局からの信号のタイミングが早まってきていることが原因であることに気付きました。テレビ朝日が調査した結果、親時計装置が0.1秒ほど早まっていることが判明し、時刻補正が行われ、この不調が解消されました。放送・ITシステム部のマスター担当者を代表して伏屋副部長は「起こっている事柄を多方面から深く調査することの大切さを実感することができました。これからも確実に送出を行うマスターであるように邁進してまいります」と語りました。



左から伏屋昌幸副部長、佐々木伸弥さん、樹山英則局長。
皆さん、おめでとうございます！